

五島慶太 実業家。官僚から転じて、「電鉄王」になり、土地開発から東急コンサルを構築、教育にも貢献した。

ごとうけいた

新体詩抄・1882 =

長野県青木村で村一番の資産家の末子に生まれる。両親ともに信仰心が篤かった。

江戸時代に一揆が集中的に起き、維新後も青年会など活発な村であったが、道路のつかえ・鉄道篠ノ井線の開通などで取り残される。

帝国憲法発布1889 = 7歳 :

足尾鉞毒始・1891 = 9歳 :

日清戦争始・1894 = 12歳 :

日清戦争終・1895 = 13歳 : 上田中学に入学。

子規句歌革新1898 = 16歳 : 松本中学に入学、下宿し、定期的に40kmの道を往復。

アノ国産化・1900 = 18歳 : 卒業。青木村の小学校に新設された高等科の代用教員を務める。

教科書疑獄・1902 = 20歳 : 東京高等師範英語部に合格。嘉納治五郎校長から強い影響を受ける。

日露戦争終・1905 = 23歳 : 東京高等師範を卒業して、三重県の四日市商業の教員となる。

韓国反日暴動1907 = 25歳 : 教職の道を捨て、検定試験を受けて後、東京帝国大学法科大学政治科に入学、明治民法の起草者で華族とも近かった学者富井政章の息子の家庭教師となり、家族の一員のように可愛がられる。

伊藤博文暗殺1909 = 27歳 :

富井の息子を仙台の二高に入れた後、給費生募集に応じるため紹介を受けて加藤高明に会うと、見込まれて加藤家の息子の面倒を見ることになった。

大逆事件判決1911 = 29歳 : 東大法学部を卒業し、加藤の斡旋で農商務省に入り、高等文官試験にも合格。

明治天皇没・1912 = 30歳 : 後の建築家久米権九郎の姉と結婚して義母方の五島姓となる。

大正政変・1913 = 31歳 : 鉄道院に転じる。

第一次大戦始1914 = 32歳 :

この間、経済雑誌{実業之日本}を講読して増田義一の論説から影響を受ける。

本格政党内閣1918 = 36歳 : 監督局総務課長となる。

郷誠之助から懇請され、

アノ条約・1919 = 37歳 : 退官して破産寸前だった{武蔵電気鉄道株式会社}の常務取締役に就任。

2男2女を得たが、

原敬首相暗殺1921 = 39歳 :

水平社結成・1922 = 40歳 : 妻が死去。_ 渋沢栄一が設立した{田園都市会社}が開発した分譲地の交通のため、鉄道部門を分離して設立した{目黒蒲田電鉄株式会社}の専務取締役に就任し、事業を遂行。

関東大震災・1923 = 41歳 : 震災で焼け出された人たちが新分譲地へ移ったため、業績好調となる。

護憲三派圧勝1924 = 42歳 : {武蔵電気鉄道株式会社}を{東京横浜電鉄}と改称し、専務取締役にとなる。

日本時代始・1926 = 44歳 : 加藤が死去。丸子多摩川・神奈川間が開通。

金融恐慌・1927 = 45歳 : 渋谷・丸子多摩川間が開通。目蒲線の大井町・大岡山間の営業開始。

共産党事件・1928 = 46歳 : 慶応義塾の郊外移転に協力し始め、以後、沿線の土地を次々と寄附して多くの大学を誘致。

世界恐慌・1929 = 47歳 : 以後、4年間は<昭和恐慌>で自殺を考えるほどの困難もあった。

満州事変・1931 = 49歳 :

五一五事件・1932 = 50歳 : 現在の東横線の区間(渋谷・桜木町)が全通。

帝人疑獄事件1934 = 52歳 : 社内誌{清和}を創刊し、自ら編集に携わる。慶応義塾日吉校が開校。{東横百貨店}がオープン。東京市長選挙の贈賄疑惑で逮捕され、半年間獄中生活。

二二六事件・1936 = 54歳 : 両社の社長となる。

日中戦争始・1937 = 55歳 : 贈賄事件が無罪となって決着。{東横青年学校}{東横家政学校}を開校して自ら校長を務める。

健保+総動員 1938 = 56歳 : {玉川電気鉄道}を併合。

第二次大戦始1939 = 57歳 : {東横女子商業}が開校。両社を合併して{東京横浜電鉄}とし、大倉山に{東横神社}を造営。

大政翼賛会・1940 = 58歳 : 実業学校令により{東横女子商業学校}に昇格。財団法人{東横学園}を設立して理事長に就任。この頃から古美術品を蒐集。

日米開戦・1941 = 59歳 : 幹部社員研修等のため、私財を投じて{慎独寮}を建設。

・1942 = 60歳 : {小田急電鉄}{京浜電鉄}を合併して{東京急行電鉄}と改称。

創価学会検挙1943 = 61歳 : 過労から重病となるも回復。

年金+総武装 1944 = 62歳 : *{京王電気鉄道}を併合。運輸通信大臣に就任。

敗戦・1945 = 63歳 : 財閥解体に準じて、併合してきた全ての会社が再び分離され、

新憲法施行・1947 = 65歳 : 公職追放となる。以後、解除となるまで充電に努める。

極東裁判判決 1948 = 66歳 : 新制度によって{東横学園高等学校}となる。京都大学が管理していた{久原文庫}を一括購入。

三大事件・1949 = 67歳 : {井上通泰文庫}を購入。

朝鮮戦争始・1950 = 68歳 :

独立回復・1951 = 69歳 : 追放解除となる。財団法人{東横学園}が学校法人となる。

TV放送始・1953 = 71歳 : {東横学園}の理事長に就任。糖尿病からの急性神経炎で一時療養生活。「七十年の人生」,

自衛隊発足・1954 = 72歳 : {武蔵工業大学}から求められて理事長に就任。

55年体制始・1955 = 73歳 : {東横学園}と{武蔵工業大学}を合併し、学校法人{五島育英会}とする。{久原文庫}{井上通泰文庫}をもとに{大東急記念文庫}を整備して一般に公開。この頃事業欲が最も旺盛。

国連加盟・1956 = 74歳 : 学校法人{亜細亜学園}の理事長に就任。{東横学園女子短期大学}が開校。以後、女子大学構想を推進。

イヌカトラメ 1958 = 76歳 : 「事業を生かす人」。

美智子妃・1959 = 77歳 : 糖尿病による動脈硬化と脳血栓のため没した。

没後{五島美術館}が開館。

太田次男「もう一人の五島慶太」, 「この人どんな人」, 「日本の群像」, 山田風太郎「人間臨終図巻」,